

< 参考配付資料 >  
 平成23年7月26日  
 東京電力株式会社

福島第一 発電所構内における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

( データ集約 : 7/26 )

採取場所	福島第一 環境管理棟前		福島第一 水処理建屋前		福島第一 5, 6号機開閉所前		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度) 2
試料採取日時刻	平成23年7月25日 <sup>3</sup> 10時26分 ~ 13時26分		平成23年7月25日 <sup>3</sup> 10時34分 ~ 13時34分		平成23年7月25日 <sup>3</sup> 10時42分 ~ 13時42分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 <sup>1</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 <sup>1</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 <sup>1</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

1 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10<sup>-</sup> と同じ意味である。

2 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

3 低流量(約5 l/分)のダストサンプラーを使用しているため1時間以上の採取時間を要している。

< 参考 > 毎日実施している西門の流量は約40 l/分

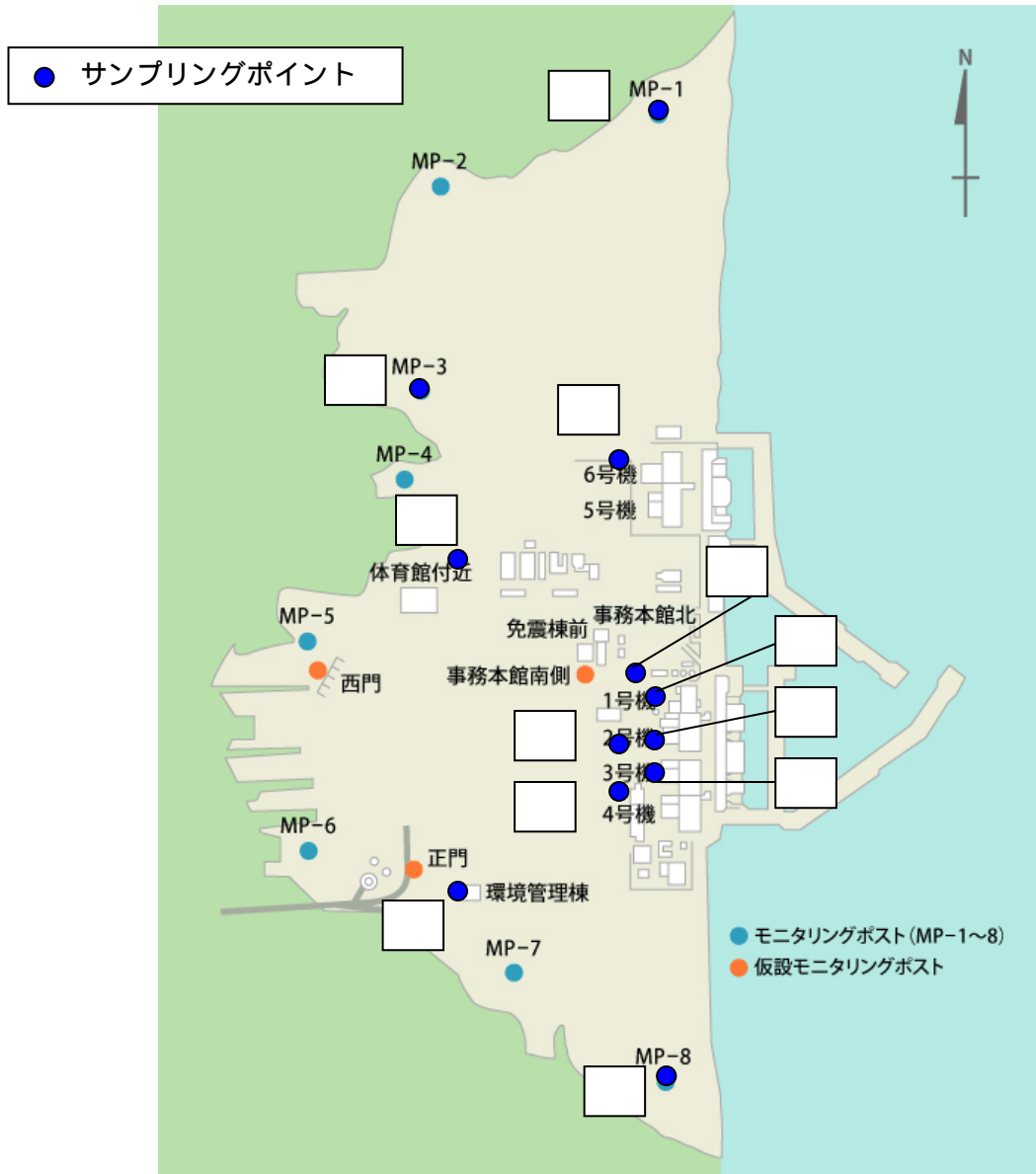
4 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表3核種の検出限界値は次のとおり。揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約5E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約6E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

### ダストサンプリング位置図



番号	調査地点名	番号	調査地点名
	1号機北側法面上		環境管理棟前
	1, 2号機西側法面上		水処理建屋前
	3, 4号機西側法面上		5, 6号機開閉所前
	1号機山側		MP - 1
	2号機山側		MP - 3
	3号機山側		MP - 8